



# 忍路

## 教育目標

かしこく  
やさしく  
たくましく

令和5年9月27日

忍路中央小学校  
忍路中学校  
学校だより6号



忍路小中 HP <https://www.otaru.ed.jp/osyoro-psjh/>

## 「〇〇の秋」

校長 村中 寿幸

朝晩の冷えた空気に触れ、風に揺れるススキを見ると季節が秋に移ったことを感じます。みなさんは「秋」と言えば何を連想するでしょうか。「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」などといわれています。北海道の秋には様々な作物が収穫され、何を食べてもおいしい「食欲の秋」はわかります。また、天気がよく気温が適温で、屋外で体を動かしやすくなる「スポーツの秋」も理解できます。

それでは、なぜ、「読書の秋」として本を読むことに「秋」が関係あるのかを調べてみました。昔の中国の韓愈（かんゆ）という人が残した詩の中に「燈火（とうか）親しむべし」という一節があり、その意味は「秋になると涼しさが気持ちよく感じられる。そんな秋の夜長はあかりをつけて本を読むのに適した季節である」ということだそうです。また、韓愈が息子に対して勉強（読書）を勧めた言葉でもあるそうです。このことが、「読書の秋」という言葉の由来とされています。

そんな「読書の秋」ですが、本校の子供たちは1週間に読書をする時間がどれくらいあるのでしょうか。8月28日から9月3日の7日間、生活リズムチェックシートの結果から、読書時間は小学生で1日平均10分、中学生で1日平均14分でした。

東北大学教授で医学博士 川島隆太 氏の著書「読書がたくましい脳をつくる」によると、睡眠時間や家庭学習の時間を削って読書をするとう成績アップの効果が低く、**成績アップには、6時間から8時間の睡眠 + 1時間の読書 + 1時間の家庭学習を行うと効果がある**と記されていました。読書の習慣を身に付け、普段から本に親しむことで、成績アップとともに、子供たちは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにする力を獲得するといわれています。そんな、素晴らしい読書をお子たちに勧める方法のひとつが、ご家族の方がリビングなどで珈琲やお茶を飲みながら本を読んで、楽しんでいる素敵な姿を見せることです。秋の夜、ちょっとした時間をつくり、みなさんで「読書の秋」を楽しんでみませんか。

## SOSの出し方について

残念ながら子どもが命を絶つ不幸な出来事がありました。不安や悩みを抱えたときは、保護者や学校の先生、スクールカウンセラー（本校では月に2回程度勤務します）、「地域の相談できる大人」へ相談するよう学校でも伝えていきますので、ご家庭でも折に触れお話しください。

- 子ども相談支援センター0120-3882-56
- 子どもSOSダイヤル 0120-0-78310
- 北海道いのちの電話 011-231-4343

## 中学校 キャリア教育

中学校では様々な職業人からの講話によるキャリア教育を進めています。『甘味処とぺんぺ』さんの協力の下、中学生の職場訪問とかき氷作りの体験活動、職業講話によるキャリア教育を行いました。

当日はあいにくの雨天でしたが、子どもたちは自分で作ったかき氷を美味しくいただき、また、講師の方から将来の就職などに備えて挨拶やコミュニケーション力を磨くことなど、説明を受けました。地域の様々な人材や教育資源を活用し、子どもの教育活動につなげることができる点も、本校の特色であると思います。



## 小学校 川の生物観察まとめ

9月14日(木)、1学期に行った川の生物学習のまとめを行いました。講師の自然教育促進会 安原氏が事前に捕まえた生物を、子どもたちは自分たちの手で観察ケースに入れ、場所を変えて生物の特徴をスケッチするなどしてまとめていました。

生物を捕まえるときは両手で優しくすくうこと、蘭島川には多様な生物がいること等を子どもたちは体験的に学習していました。

これからも地域の自然や生物を、大切にしていって欲しいです。



## 中学校 稲刈り体験

農業についての学習の一環として9月19日(火)に、地域の講師による中学生稲刈り体験を行いました。講師から、稲刈りの苦勞、昔に比べて農業も機械化が進んでいること、忍路や蘭島地区は農業が昔から盛んであったことなどが説明されました。

子どもたちはのこぎり鎌を用いて実際に稲を刈り取る体験を行い、米作りの苦勞の一端を感じる事ができたように思います。刈り取った稲は学校で乾燥させ、調理実習で食べる予定です。



## 小学校 修学旅行

小学校5、6年生が楽しみにしていた修学旅行を9月14日(木)、15日(金)の日程で実施しました。1日目はあいにくの雨天でしたが、恵庭えこりん村、登別の伊達時代村を見学し、登別温泉に宿泊しました。2日目は伊達の北黄金貝塚、藍染め体験、洞爺の火山博物館を見学し、京極をまわって忍路に夕方帰着しました。

伊達時代村では忍者屋敷などを見学し、北黄金貝塚ではガイドの方から縄文のくらしなどの説明を受けていました。初めて親元を離れ、宿泊を経験した子どももいたようですが、体調を崩すことなく、2日間仲間と交流を深めることができました。



## 小学校 鯉漁撈の学習

小樽市には有形・無形の文化財があり、忍路・蘭島地区には『鯉漁撈の行事』が無形文化財として伝承されています。9月20日(水)に、市教委の学芸員講師と鯉場の会講師を招いて、鯉漁撈についての学習を行いました。

当日は映像を見ながら昭和30年代の鯉漁のようすや、船の模型を使って櫓をこぐかけ声、網を引くときのかけ声などを子どもたちは学習していました。忍路と鯉の歴史や、地域に伝わる文化について、忍路・蘭島在住の講師から直接学習し、地域の良さについて改めて感じて欲しいです。



## 小中発表会について

10月14日(土)に忍路中央小学校体育館にて小中発表会を開催します。半年間の子どもたちの学習の成果を、保護者や地域の皆さんに見ていただく貴重な機会です。

ぜひ多くの保護者・地域の方々にご来校いただきますようよろしくお願いします。